

1. 食中毒の発生状況
2. 災害時動物救護について
3. 多職種と連携した多頭飼育対策の検討

1.食中毒の発生状況

過去5年間の食中毒発生状況 (平成26年度～平成30年度)

年度	件数	患者数	主な病因物質（主な原因食品）
平成26年度	14	177	ノロウイルス 6件（カキ、仕出し弁当） カンピロバクター 2件（加熱不十分な鶏肉料理） アニサキス 2件（刺身、寿司） サルモネラ、クドア、テトロドトキシン、腸炎ビブリオ
平成27年度	4	44	ノロウイルス 2件（カキ、仕出し弁当） カンピロバクター 2件（加熱不十分な鶏肉料理）
平成28年度	9	105	カンピロバクター 5件（加熱不十分な鶏肉料理） ノロウイルス 2件（寿司、仕出し弁当） ぶどう球菌、クドア
平成29年度	3	3	アニサキス 3件（刺身、寿司）
平成30年度	9	29	アニサキス 4件（刺身、寿司） カンピロバクター 2件（加熱不十分な鶏肉料理） ノロウイルス、腸炎ビブリオ、不明（ヒスタミン疑い）

令和元年度の食中毒発生状況 (12月1日現在)

発生場所		発生月	原因食品	病因物質	患者数
営業施設	和菓子店	4月	桜餅、浅漬け（白菜とキュウリの浅漬け）等	ノロウイルス	10人
	鮮魚店	9月	アジ等の刺身	アニサキス	1人
	居酒屋	10月 11月	刺身盛り合わせ 白レバー（加熱不十分な鶏レバーの焼き鳥）等	アニサキス カンピロバクター	1人 3人
			合計	4件	15人

【参考】千葉県（3市を除く）：12件 226人、
千葉県市：8件 62人、柏市：0件

2.災害時動物救護について

災害時動物救護について

「災害時における動物救護活動に関する協定」

- * 平成30年7月19日
京葉地域獣医師会と「災害時における動物救護活動に関する協定」を締結
- * 平成31年3月14日
「第1回災害時動物救護活動に関する意見交換会」を開催
- * 令和元年8月22日
「第2回災害時動物救護活動に関する意見交換会」を開催
災害時における動物救護活動体制について検討を進めた。

災害時動物救護について 「ペットの同行避難訓練」

- * 令和元年8月25日
- * 訓練会場（避難所）：船橋市立船橋中学校
- * 訓練参加者
運営者等
 - 町会・自治会
（船橋中学校周辺にお住まいの方）
 - 船橋中学校の生徒
 - 協力関係団体（京葉地域獣医師会、J-HANBS）
 - 市職員（避難所参集職員、危機管理課、動物愛護指導センター）避難者
 - 町会・自治会の犬の飼養者と犬



災害時動物救護について 「愛犬・愛猫セミナー、パネル展示」

愛犬・愛猫セミナー

- * 令和元年8月23日
災害時にも役立つ！！
愛犬・愛猫の「しつけ」と「健康管理」



パネル展示

- * 公民館、保健福祉センター、
動物愛護フェスティバルで実施



3.多職種と連携した多頭飼育対策の検討

多職種と連携した多頭飼育対策の検討

- 臭気等による周辺環境の悪化
- 飼い主自身の劣悪な生活環境
- 不適切な飼養による動物虐待

多頭飼育崩壊への対応に関する
3つの観点



- 周辺の生活環境の改善：公衆衛生、環境衛生担当各課
- 飼い主への支援：福祉行政、ケアマネージャー等
- 動物虐待の改善：動物愛護管理行政
- 近隣住民とのトラブル：警察、自治会等

多様な分野との**横断的な連携**が必要になる

多職種と連携した多頭飼育対策の検討

* ケアマネージャー、生活支援課・障害福祉課職員に
多頭飼育崩壊と社会的孤立化の関連について説明を実施

- 多頭飼育崩壊とは
- 船橋市の事例
- 問題の要因と対策



多職種と連携した多頭飼育対策の検討 (動物愛護管理対策会議)

●目的

- * 動物の愛護及び適正飼養の確保を図り、人と動物の共生するまちづくりのため、本市の動物行政における効果的な対策と推進の方策を検討する。

●委員（8人）

- * 自治会連合協議会推薦者（2人）、獣医師団体推薦者（1人）、
- * 動物愛護関係団体推薦者（1人）、市民公募者（2人）、
- * 市長が特に認める者（県弁護士会京葉支部推薦者（1人）、同会議前会長（1人））

●直近の会議（R1. 8. 19）での主な協議事項

- * 改正動物愛護管理法について
- * 「船橋市動物の愛護及び管理に関する条例」改正に関する検討について
- * 市民意識調査について